

社会資本整備総合交付金 事後評価シート

東岡崎駅周辺地区整備計画

令和3年2月

愛知県岡崎市

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

令和3年2月

計画の名称	1 東岡崎駅周辺地区整備計画																
計画の期間	平成29年度 ～ 令和元年度（3年間）				交付対象	岡崎市（愛知県）											
計画の目標																	
人口減少や超高齢化社会を迎える中で、岡崎市においては持続可能な都市の成長を確保するため、公共交通軸のアクセス向上と都市機能の集約化・高度化を図り、地域共生型のコンパクトシティを目指すとともに、駅周辺の市街地を流れる乙川の水辺空間を活かしたまちづくりにより新たな交流とにぎわいの創造を図ることとしている。 岡崎市の都市核に位置する東岡崎駅を、平成22年2月に策定した「東岡崎駅北口広場整備計画」、平成23年5月に認定を受けた「岡崎市まちなか総合交通戦略」に基づき、中核市岡崎市の玄関口としてふさわしい整備をすることにより、交通結節点としての駅の利便性向上を図り、乙川の水辺空間を活かしたまちづくりによる都市のにぎわい創出促進に寄与する。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
		・東改札口乗降客数 4,000人/日を達成 ・東岡崎駅前広場及び明大寺交通広場への流入交通量 300台/hrを達成															
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考					
									当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R1末)						
東岡崎駅の東改札口における1日当たり乗降客数を調査する。									2,488人/日	3,000人/日	4,000人/日						
東岡崎駅前広場及び明大寺交通広場における一般車のピーク時流入台数を調査する。									239台/hr	239台/hr	300台/hr						
全体事業費	合計 (A+B+C)	632 百万円	A	632 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		0.0%						
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期										
整備計画の策定主体の所管部署において事後評価を実施し、岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会にて評価内容を審議し評価結果の取りまとめを行う。							令和3年3月										
							公表の方法										
							岡崎市ホームページ上にて公表										
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	R1	R2	R3			
1-A-1	交通戦略	一般	岡崎市	直接	岡崎市	東岡崎駅前広場整備		駅前広場 A=3,000㎡	岡崎市						522		
1-A-2	交通戦略	一般	岡崎市	直接	岡崎市	明大寺交通広場整備		交通広場 A=2,400㎡	岡崎市						110		
														合計	632		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名		事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H29	H30	R1	R2	R3		
														合計			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H29	H30	R1	R2	R3		
														合計			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		東岡崎駅東改札口から明大寺交通広場及び複合商業施設、乙川河川緑地へと直接往来できるペDESTリアンデッキでつながったことにより、駅利用者の利便性が向上した。 東岡崎駅前広場と明大寺交通広場の整備により、一般車の乗降場が増設されたことにより、交通結節点機能が強化された。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	東改札口乗降客数 4,000人/日を達成	最終目標値	4,000人/日	目標値と実績値に差が出た要因	・新型コロナウイルス感染症対策により、外出自粛要請や新しい生活様式としてテレワーク等が推奨されたことで、鉄道利用者が全体的に減少しており、目標値を上回るには至らなかったと考えられる。 ・目標人数には届かなかったが、従前より719人増加（従前比約29%増）しており、東岡崎駅東改札口から明大寺交通広場等へと直接往来できるペDESTリアンデッキでつながったことによる整備効果を含め、東岡崎駅前広場及び明大寺交通広場の整備効果が着実に表れている。
		最終実績値	3,207人/日		
	東岡崎駅前広場及び明大寺交通広場への流入交通量 300台/hrを達成	最終目標値	300台/hr	目標値と実績値に差が出た要因	・新型コロナウイルス感染症対策により、外出自粛要請や新しい生活様式としてテレワーク等が推奨されたことで、鉄道利用者が全体的に減少しており、目標値を上回るには至らなかったと考えられる。 ・目標台数には届かなかったが、従前より36台増加（従前比約15%増）しており、東岡崎駅前広場と明大寺交通広場の整備により、一般車の乗り継ぎ利用が着実に増えており、整備効果が発揮されているものとする。
		最終実績値	275台/hr		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
【今後の方針】 ・家族などに鉄道まで送迎してもらう鉄道端末の自動車利用は、東岡崎東改札口に隣接する東岡崎駅前広場に整備された一般車乗降場の利用が便利であることを周知する。 ・東岡崎東改札口からペDESTリアンデッキで直接往来可能な明大寺交通広場は、一般車乗降場の利用や、企業・観光バスの乗り継ぎに便利であることを周知する。 ・南北自由通路、橋上駅舎、バスターミナル、駅ビルの一体整備により、交通結節点機能を更に強化し、利便性の向上および新たな交流と賑わいの創造を図る。					

(参考図面) 市街地整備

